



世界に誇る地域の宝『村上大祭』を胸に、誇り高く生きる

校長 磯部 睦

先日の全校朝会で、村上大祭の話をしました。

村上大祭（村上祭の屋台行事）は、昨年十二月にユネスコ無形文化遺産への正式登録が決定いたしました。これは、私たち村上の宝が、日本国内だけでなく「人類が未来へずっと残していくべき世界共通の宝物」として認められたという、極めて歴史的な快挙だと私は考えます。

朝会では、お祭りの由来について次のように話しました。

今から390年以上も前の江戸時代（1633年）、当時の村上城主であった堀直奇公が、新しく建てた今の西奈彌羽黒神社へ、神様を引っ越しさせました。その時に大町の人々がそのお祝いに太鼓を大八車にのせて町を練って歩いたことがお祭りの始まりとされています。

お祭りの由来については、知らなかった子も多かったらしく、驚きと興味に満ちた表情で聞き入っていました。

私は、村上大祭には世界に誇る「三つの宝物」があると考えています。

一つ目は、「伝統技法を生かした精巧な彫刻や、漆塗りや金箔が施された絢爛豪華なおしゃぎり（屋台）の巡航」です。二つ目は、長い間、楽譜のない中、耳から耳へ、体から体へと受け継がれてきた「お囃子」です。そして三つ目は、子ども、大人、お年寄りまで、町じゅうの人々が一つになって祭りを創り上げてきた「地域の思いや絆」です。この思いや結びつきで継承されてきた屋台巡航が、世界から高く評価されたのではないのでしょうか。

今年は、世界遺産（無形文化遺産）に登録されてから初めて迎える記念すべき年です。この歴史的な節目に、今、私たちが立ち会えていることを、共に心から喜び合いたいと思います。

朝会の結びとして、私は子どもたちと三つを約束しました。「お祭りを思い切り楽しみましょう！」「何ヶ月も前から準備をしてくれる地域の方々や先人への感謝をしましょう！」「そして「世界に認めた伝統文化が自分の故郷にあることに、自信と誇りを持ちましょう！」です。

伝統を受け継ぐという経験は、子どもたちの郷土愛を育み、生涯にわたる心の拠り所となります。今年の夏は、例年以上に特別な熱気と感動がまちを包み込むことでしょう。学校でも、地域がつかないできたこの素晴らしい文化を次世代へとつなぐ思いを、子どもたちの中に大切に育てていきます。

<6月のトピックス>

3年生:総合「お茶摘み体験」

3年生は総合学習で「村上の宝」を学んでいます。今回調べたのは、地元の誇りである「お茶」。この日は常磐園さんを訪ね、茶摘みに挑戦しました。産地だと知ってはいても、本物の茶葉を見るのは初めての子ばかりで、みんな興味津々！午後には、持ち帰った葉を実際に煎って味わいました。自分たちで摘んだお茶の味は、まさに格別。この貴重な体験の感動を胸に、子どもたちはさらに学びを深めていきます。



4年生:社会「ごみ処理の様子を見学」

4年生は、普段出しているごみがどう処理されるかを学んでいます。この日はエコパークむらかみとヤマノイさんを見学しました。ごみを豪快に細かくする機械や、カチカチの直方体に圧縮された缶・ペットボトルを間近で見た子どもたち。ごみへの意識が少し変化したようです。今後は、燃やしたごみの灰や、細かく砕かれたペットボトルがどこへ行くのか、さらに追究していきます！



(文責：教務主任 大滝 裕)

<7月の予定>

1	水		16	木	
2	木		17	金	
3	金		18	土	スポレク
4	土		19	日	
5	日		20	月	海の日
6	月		21	火	
7	火	村上大祭	22	水	町内子ども会
8	水	2時間遅れ登校	23	木	4時間授業 給食最終日
9	木		24	金	I学期終業式
10	金		25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	夏季休業日～8月28日
13	月	放課後子ども教室	28	火	個別懇談会①
14	火		29	水	個別懇談会②
15	水	スイスイ！水曜日	30	木	個別懇談会③
			31	金	



学び きたえ 思いやる子
村上市立 村上南小学校

[ホーム](#)
[学校概要](#)
[ランドデザイン](#)
[年間行事予定](#)
[登校許可証](#)
[療養解除届](#)

[村上南小トピックス](#)
[学校だより](#)
[いじめ防止基本方針](#)

新鮮な情報を毎日更新中です！

